

学力向上に向けた目標値

成果指標：「都学力調査」 到達目標値（教科書の練習レベルの問題）を超える割合								成果指標：「全国学力・学習状況調査」 「東京都の基準による正答数四分位」の分布におけるAB層の割合					
教科	平成30年度結果		平成31年度目標値		平成31年度結果		令和2年度目標値	令和3年度目標値	令和3年度結果（都全体のAB層の割合）	令和3年度結果（学校のAB層の割合）	令和4年度目標値	令和4年度結果（都全体のAB層の割合）	令和4年度結果（学校のAB層の割合）
国語	12問	63.2%	13問	70%	13.9問	68.8%	13.4問 70%						
社会	16問	53.3%	16問	65%	16問	44.5%	16問 65%	国語	国語	国語	国語	国語	国語
算・数	14問	40.2%	14問	55%	16問	48.0%	16問 55%	%	54.0%	49.1%	60%		
理科	14問	45.8%	14問	75%	14問	49.3%	14問 75%	算数・数学	算数・数学	算数・数学	算数・数学	算数・数学	算数・数学
英語	15問	45.3%	14問	65%	15問	53.7%	16問 65%	%	56.1%	49.8%	60%		

東京都の学力調査の内容の変更に伴い、区としての学力向上に向けた目標値の設定に「全国学力・学習状況調査」を用いる。
 ○全国学力調査（小6・中3対象/国語、算数・数学）の正答率四分位の分布においてC・D層の児童・生徒の割合について、都全体と区全体の差を令和4年度までに解消する（令和3年度教育指導課重点事業P.7より）。

学力向上に向けた取組				
論点	第1学年	第2学年	第3学年	成果指標及び数値目標
論点1 基礎的・基本的事項の定着	<ul style="list-style-type: none"> 小学校での学習を観察・分析 漢字、計算、英単語コンテストの実施（年3回） 放課後補習教室の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字、計算、英単語コンテストの実施（年3回） 放課後補習教室の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力を定着させるため取り組みを年度初めにまとめ共通理解する。系統的に取り組む。 放課後補習教室の実施 	
論点2 学習規律の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 各教科担任からの授業の受け方の指導・チャイム着席、授業準備の・授業態度の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科担任からの授業の受け方の指導 チャイム着席、授業準備の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 一時間一時間の授業を大切にできる気構えを持たせるために、授業内容を授業者が精査する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業で扱うノートに学習の目標とまとめを書いていたか。（全国学力調査）肯定的な回答 95%以上
論点3 生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査2週間前より、学習計画表の作成 週間スケジュールの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 生活記録ノートの活用 定期考査2週間前より、学習計画表の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣の確立を目指す学年・学級指導を行い、一日を大切に誠実に過ごす心を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○どれぐらいの時間、テレビゲームをしますか。（全国学力調査）2時間以上の割合 35%以下
論点4 家庭学習の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の課題を毎日提出させる 各教科で家庭学習の仕方を説明 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の習慣化を促進 三者面談で家庭学習の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の課題や学習計画の立て方を学年で取りまとめ家庭に周知する 	<ul style="list-style-type: none"> ○家で学校の宿題をしていますか。（全国学力調査）肯定的な回答 90%以上
論点5 言語に関する指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の授業で、発表、話し合いの活動を実施 弁論発表会、ブックトークの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の授業で、発表、話し合いの活動を実施 弁論発表会、ブックトークの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい漢字や文法で丁寧に書くことを学年で指導する。 豊かな語彙で話せるよう、国語科を中心に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。（全国学力調査）肯定的な回答 50%以上
論点6 教員の学習指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による授業評価の実施 教員同士で授業を参観し、助言や情報交換の実施（年2回） 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による授業評価の実施 教員同士で授業を参観し、助言や情報交換の実施（年2回） 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による授業評価の実施 教員同士で授業を参観し、助言や情報交換の実施（年2回） 	<ul style="list-style-type: none"> ○（各教科）の授業の内容はどのくらい分かりますか。（都学力調査）肯定的な回答 80%以上

教科	各教科の授業改善に向けた指導の重点		
	第1学年	第2学年	第3学年
国語	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な漢字・文法の手を見極め、基礎学力向上に向けた具体的な取り組みを実施する。 文字を丁寧に、バランスよく書く指導を徹底して行う。 授業規律を定着させ、主体的に積極的に学び、発言する姿勢を指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見文を実施し、自分の考えや意見を発表するとともに相互評価を行い、考えをさらに深める活動を重点とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 対話力向上のために、構成や内容に着目し、主張が明確に伝わるような表現の工夫を文章に活かす練習をする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料などを読み取り、活用する活動を通して、自ら調べ、主体的に学びに向かう態度が育つように指導を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料などを読み取り、活用する活動を通して、自ら調べ、主体的に学びに向かう態度が育つように指導を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでに身につけた力を活用し、現代社会の仕組みや課題を追究し、より良い社会の実現を図ることができるよう指導を工夫する。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 自主的な学習をするために、自主学習ノートを作成し、定期的に提出させている。 授業の中でその日の内容ごとに通常の基礎的な問題に加えて応用問題も添付して、思考力、表現力を向上させるべく努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 思考力・表現力を必要とする課題に取り組み、筋道を立てたり、自分の考えを説明したりする場面を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 都学力調査結果において課題のあった数量や図形に関する技能について重点的に取り組む。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 身につけた知識を日常生活で起こる事物・現象と結びつけ、話し合い活動の中で説明できるようにすることで、表現力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験における考察の仕方の徹底を図り、話し合い活動を充実させて、思考力・表現力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 表、グラフ、図、モデルなどを用いて、説明する学習活動を計画的に行い、論理的な考察の充実を図る。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 評価を明確化し、意欲や技能向上につなげている。 一時間の中で毎回達成感を持たせ、成就感を味わわせている。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞活動にて、音楽を形作っている要素や構造と曲想の関わりなどについて感じたことを発表し、表現力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が感じ取ったことと聴き取った要素の働きを関連付けられることができるように、発問や板書等の工夫をする。
美術	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な技術となる材料や用具の使い方等個別の技能を身に付けさせる。 生徒自らが発想や構想したことを基に具体化できるよう、ICT機器を活用させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 形や色彩、イメージなどに重点を置いて指導し、生徒の造形力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 既成の観念にとらわれず、新しく、柔軟な発想力を認め、個々の生徒に自信を持たせる指導の工夫をする。また、基礎的な技術を応用させることで、より造形的に美しい表現力を育てる。

<p>保健体育</p>	<p>○補助運動の内容を充実させ、主運動との関連を高めながら基礎的な運動能力や体力向上を図る。</p> <p>○運動の楽しさや喜びを味わい、運動・体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身につける。</p> <p>○仲間への声掛けや応援が自然とできるような雰囲気づくりをし、運動が苦手な生徒も積極的に取り組めるようにする。</p>	<p>○補助運動の内容を充実させ、主運動との関連を高めながら基礎的な運動能力や体力向上を図る。</p> <p>○1年生で習得したことを活用できる場面を毎時間設定し、生徒の実践力を高める。</p> <p>○生徒の意欲の向上や技能の習得に向けて、ビデオカメラやタブレットを積極的に活用する。</p>	<p>○補助運動の内容を充実させ、主運動との関連を高めながら基礎的な運動能力や体力向上を図る。</p> <p>○1・2年生で習得したことを活用できる場面を毎時間設定し、生徒の実践力を高める。</p> <p>○生徒の意欲の向上や技能の習得に向けて、ビデオカメラやタブレットを積極的に活用する。</p>
<p>技術・家庭</p>	<p>○学習内容が身近な生活や社会でどのように活かされているか調べ、学習内容と社会との結びつきを気づかせ学習内容や技能を身につけることへの意欲を高める。</p>	<p>○基礎的な知識や技能を身に付け、身近な生活や社会の問題を解決するための方法を理解し、実践するための力を高める。</p>	<p>○学習した内容をもとに、生活や社会における問題をどのように解決できるか、意見を交換し深め、行動に結びつける力を高める。</p>
<p>外国語 (英語)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で育まれたコミュニケーション能力の振り返りを行う。 ・学習指導要領に基づいたカリキュラムを作成し、主体的活動、言語活動を積極的に取り入れる。 ・自分の気持ちや身の回りの物事に対する表現を行わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に基づいたカリキュラムを作成し、主体的活動、言語活動を積極的に取り入れる。 ・自分の気持ちや身の回りの物事に対する表現を行わせると共に他人の考えを聞く力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に基づいたカリキュラムを作成し、主体的活動、言語活動を積極的に取り入れる。 ・自分の気持ちや身の回りの物事に対する表現を行わせると共に他人の考えを聞き、自分の意見に反映できるようにする。